



# 桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ

2020年

ROTARY CONNECTS THE WORLD

R.I 会長 マーク・ダニエル・マローニ



ロータリーは  
世界をつなぐ

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 須永博之 幹事 飯塚 荘一

クラブ会報・情報委員会 園田誠・高橋弘史・平岩千鶴子

1月27日号

第3137回例会

(1月20日(月)第2例会)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘        | 8. 委員会報告     |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 9. 卓 話       |
| 3. 来訪者紹介      | 「被災地に桐生市を見る」 |
| 4. ロータリー情報アワー | 桐生市 地域振興整備局  |
| 5. 出席100%表彰   | 新里支所 地域振興整備課 |
| 6. 会長の時間      | 次長 丹羽 稔 様    |
| 7. 幹事報告       | 10. 点 鐘      |

## ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生市 地域振興整備局 新里支所 地域振興整備課 次長 丹羽 稔 様

## ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員松島宏明君

1月は職業奉仕月間です。

シカゴで4人の職業人が集まり、当時の世相に対する思いを語りあったことがロータリーの起源とされていますが、1905年当時シカゴの世相は荒み、誰もがお互いを信頼することが出来ず、日々の生活を営んでいました。ポールハリスは後に日本を訪問した際に当時の事を問われ、ロータリークラブを創った理由を聞かれ「さみしかったから」と語ったということです。当時の社会に対する素直な思いであり、社会に良いことをしたいという思いは現代にも通じるものがあります。2020年の現在は、文明は進化し、情報化が進み、1905年当時とは比べ物にならないほど、視野は拡がり、瞬時に世界で起こることが伝わることによって、社会の抱える問題もその規模感も飛躍的に変化しました。

2015年国連サミットにおいてSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。

誰もが地球全体に目を向け今自分たちができる開発目標を定めるための、17の方向性を示したものです。ロータリー活動も急激に変化する現代、不変の要素を核に置き、ダイナミックに変化させる必要を感じます。

## 出席100%表彰

須永 博之君 8回



## 会長の時間

皆様こんにちは。昨年末から穏やかな気候で過ごしやすい日々が続いております。

さて、今月から私の任期も後半に入りました。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。今月は職業奉仕月間ですが、前回の新年初例会では全国的に活躍されている金子勇人会員のエレクトーンの演奏を聴いていただきました。多くの皆様が感銘し感動されたと思います。金子さんは、わが国音楽業界で活躍されており、後進の育成にも携わっておられ職業奉仕を若くして実践されている方です。職業奉仕とは、職業を通して社会に貢献することだと私は理解しておりますので、ロータリアンとして誇りです。

そして、桐生ロータリーにはまだまだ沢山の素晴らしい会員の皆様がおられます。以前から会員の卓話が聞きたいとのご要望が私に届いておりますので、後半の例会ではロータリー会員の皆様に卓話をお願いしたいと考えています。皆様は、桐生を代表する方々ばかりで

すので、是非、それぞれの企業のお話や今まで経験して来た事などをお話し頂ければと考えています。プログラム委員会等から依頼されましたら、快くお引き受け下さるようお願い申し上げます。

#### 《報告》

- ・1/6 例会終了後、定例理事会
- ・1/7 桐生商工会議所新春互礼会
- ・1/11 ガバナー諮問委員会 疋田PG
- ・1/13 成人の日(祝日)の為、休会
- ・1/16 桐生青年会議所 新年互礼会
- ・1/18 地区米山奨学生選考委員会  
大友米山奨学委員

#### 《予定》

- ・1/22 桐生南RCメイク 坪井AG,  
桑原IM副実行委員長、柳IM副実行委員長
- ・1/22 東京RCメイク  
青木さん、荒木さん、田中さん、丹羽さん、  
平岩さん、事務局
- ・1/24 桐生西RCメイク 坪井AG,  
竹内IM実行委員長、桑原副実行委員長  
柳副実行委員長

#### 幹事報告

- ・ガバナー事務所より「国際大会での日本人親善朝食会」のご案内が届いております。申込み希望の方は、事務局までお願い致します。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・桐生市国際交流協会会長の選任のお知らせと「ニュースレター」が届いております。
- ・桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。

#### 委員会報告

##### 出席委員会

本日の出席(令和2年1月20日)

総員66名:出席46名

令和元年12月16日例会修正出席率:77.41%

令和元年12月23日例会修正出席率:89.06%

##### ニコニコボックス

須永博之君…丹羽次長様をお迎えて／岡部信一郎君…初えびす無事に終わりました／新井智二君…結婚祝／牛腸章君…誕生祝。

#### 卓話



「被災地に桐生市を見る」

桐生市 地域振興整備局  
新里支所  
地域振興整備課  
次長 丹羽 稔 様

石巻市は仙台市の東、約70kmの位置にあります。

桐生市から約370kmの距離にあります。

石巻市は、宮城県の東部に位置する、県内第二の人口を擁する市です。6町1市の広域合併により、北上川下流の仙台平野(石巻平野)から、女川町を除く三陸海岸南端(牡鹿半島)一帯まで広がり、旧北上川河口に中心部を持つ市です。

市内西側は、広い平地になっており、稲作を中心とした農業が盛んにおこなわれ、一方の旧北上川から東の地域は北上山地とリアス式海岸によって複雑な地形をしており、漁業や湾内での養殖業などが盛んにおこなわれています。金華山沖(三陸沖)では、黒潮(暖流)と親潮(寒流)がぶつかるため世界三大漁場の1つとなっており、漁場に近い石巻市は全国でも有数の水産都市となっています。また、市内の万石浦ではカキの養殖法が開発され世界中に広がりました。

親潮は、別名千島海流とも呼ばれ、千島列島に沿って南下して日本の東岸を通過する海流です。

栄養塩が豊富で、「魚類を育てる親となる潮」という意味で付けられました。北海道、東北地方に良い漁港が多いのはこのためなのです。その濃度は黒潮の5~10倍あり、春になると植物プランクトンが大発生し、緑や茶色がかかった色になります。

黒潮は、別名日本海流とも呼ばれ、北赤道海流で生まれ、台湾と石垣島の間を抜けた後、トカラ海峡を通過して、日本南岸から房総半島沖まで達します。栄養素が低く、プランクトンが少ないため、透明度が高く青黒色に見えます。そのため、黒潮と呼ばれるようになりました。

私は仮設住宅の(仮設住宅名が仮設城内団地)に住み、高速道路(三陸自動車道)を利用して通勤していました。片道が20キロありました。当時は、市役所に近いアパートは、津波で家を失った被災者や建設関係の人たちが住んでいて、空いていませんでしたので、人気のない仮設住宅に住んでいました。この仮設住宅が建てられた場所は、野球のグラウンドで130棟の仮設住宅が建設されておりました。職務内容は、市有施設(学校・公共施設)の災害復旧工事に関する設計・施工監理と災害査定(この施設を直すのにどれくらいの金額がかかるか国に申請する)資料の作成を行っていました。

津波の高さは、石巻地区は7.4m、2階建ての建物がすっぽりと沈んでしまう高さです。牡鹿地区では25.8mで8階建ての建物沈んでしまう高さです。雄勝地区が21.4m、北上地区が17.2mでした。

中心市街地は全域で浸水し、地盤沈下も牡鹿地区で1.

2m、渡波地区で約60～70cm沈みました。石巻市では最大避難者が約 50,000 人にのぼり、人口の 3 分の 1 の方々が避難しました。また約 3,800 人以上の方々が亡くなり、宮城県全体では約 19,000 人もの人々が亡くなりました。しかし、この地震が、昼間ではなく夜中に発生していたら、この倍以上の人たちが亡くなったといわれております。このように記録に残っている地震による津波の災害状況ですが、今回の災害を含め8回もあります。

東日本大震災から78年前に昭和三陸地震が起き 昭和三陸地震から37年前に明治三陸地震が起きました。それ以前は103年、182年、743年の間隔があります。

明治29年(1896年)(震災から115年前)の明治三陸地震は、当時の人口密度からみると東日本大地震より、はるかに被害が大きかったと推測されます。

また、昭和8年(1933年)(震災から78年前)の昭和三陸地震は今回の東日本大震災と同じくらいの津波が打ち寄せられました。

このように、昔から津波の被害を受けている地域で約30年から100年のスパンで地震が起きています。まさに歴史は繰り返される。しかし、現実には地震が起きて逃げなかつた人がたくさんいました。非常に残念です。

追波湾から17.2mの津波が押し寄せ、北上総合支所と吉浜小学校と大川小学校を飲み込みました。雄勝地区は21.4mの津波がきて雄勝総合支所、雄勝小学校、雄勝中学校が水没し、この地区は壊滅状態になりました。

支所は、避難所になっていたため、避難で来られた方や市の職員が沢山亡くなりました。門脇小学校は火災により全焼してしまいました。女川原発においては津波の高さがあと数十センチ高かったら福島第一原発と同じになったそうです。紙一重と聞きました。

津波は約15m以上の高さで約5階建ての高さに匹敵しますので2階建ての大川小学校校舎は完全に水没しました。児童数108人のうち、74名の児童が亡くなりました。教職員は11人のうち、10人が亡くなりました。教職員は1人が生き残りしましたが、その人は、校長先生でした。校長先生以外は全員亡くなりました。その日、校長先生は、娘さんが大学に行くための引っ越しで学校を休んでいて、学校にはいませんでした。しかし、その後、責任を感じ、退職したそうです。このように災害で人生を狂わされてしまいました人たちが沢山いました。これが、災害の怖さです。

震災直後に学校の非難状況、被害状況等を把握するためホワイトボードに書かれたものです。

湊小

16:00 避難所開設 6:30 避難者 700 人 体調不良多

7:25 避難者 1,300 人 食料なし、孤立

釜小 13:15 避難者 1,200～1,300 人、食料、水なし、物資不足、トイレ使用不能

蛇田小 16:00 避難所開設 12:50 校舎 750 人 体育館 400 人

大街道小 避難者 1,000 人 13:15 1,200～1,300 人

水、食料なし、老人女性遺体安置 物資不足

鹿妻小 16:45 避難者 1,500 人 食料、水なし

雄勝地区 16:20 町の90%流失 食料なし、連絡手段なし、避難所状態悪い、雄勝総合支所水没。この地区は壊滅状態になりました。

【市民が学校に避難して、学校から最初に無くなったものは、教室のカーテンと体育館のカーテンと、どん帳だったそうです。どん帳は背の高さから切られ、冷たい体育館の床に引ひかれ、カーテンは毛布代わりに使ったそうです】

大川小 18:50(住民情報)屋上にいた30人、津波で流され2人救助。

この場面を見た人はどのような思いだったのか、想像が付きません。

これらの情報は、連絡手段がないので何時間もかけて、学校関係者が道なき道を歩いて市役所まで報告にきたそうです。

市役所は、屋根に雪が積もっていて水が3日から4日間、引かなかつたそうです。電気は一週間以上、水道は1カ月以上復旧しませんでした。

市役所の電気は、発電機で補っていましたが、トイレの水は外の海水をバケツでくんで流したそうです。

市の職員は最低でも1週間以上、家には帰れず、中には1か月以上も家に戻れなかつた職員もいたそうです。家族と連絡が取れず、仕事にならなかつたと聞いております。

このように大規模な火災がいたるところで発生しました。今までは、石巻市の災害の話をしてきましたが、桐生市では台風などにより、渡良瀬川などで何回も被害を受けております。足尾銅山は、慶長15年(1610)に幕府より銅の採掘がはじまり、昭和48年(1973)までの約360年間、採掘がおこなわれていました】

宝永(ほうえい)元年(1704年)に足尾銅山一帯で大雨による山津波が発生し多数の方々が亡くなり甚大な被害を受けました。

享和(きょうわ)2年(1802年)から安政6年(1859年)の約50年の間に赤岩で4回の大きな被害がありました。明治23年(1890年)には、渡良瀬川の広域で氾濫があり、利根川も氾濫し、埼玉県や東京都でも大きな被害を受けました。

明治29年(1896年)にも渡良瀬川の広域で洪水が起き、足利市で大きな被害が出ました。明治35年(1902年)には足尾町の神子内(みこうち)小学校と386棟の家屋が流失し、111人が亡くなり、現在のみどり市東町でも4人が行方不明になり、桐生市においても被害が出ています。

昭和13年(1938年)には台風により赤岩橋が流され、足利市でも堤防が決壊し大きな被害がでました。

【ちなみに鬼怒川は、大正3年(1914)、昭和13年(1938)、平成27年(2015)に決壊しています。

100年間に3回洪水がおきています。】

そして桐生市で、もっとも大きな災害をもたらした、昭和22年、23年、24年にカスリン、アイオン、キティーの、三つの台風が襲来しました。

今から、約70年前です。

中でも昭和22年のカスリン台風での被害が最もひどく、降雨量は足尾町で386mmで、桐生市では370mmのものすごい雨が降りました。

利根川水系における死者行方不明者は1,100人で、桐生市でも174人の方々の方が亡くなりました。床上床下浸水は11,762棟、流失倒壊家屋は394棟にのぼり、合わせて12,156棟が被害にあいました。

昭和22年の世帯数は19,309世帯で約63%の住宅が被害を受けました。

【また足利市においても、死者行方不明が319人、床上床下浸水は17,749棟、流失倒壊家屋は700棟にのぼりました。足利市のほうが桐生市よりも約2倍の被害が出てしまいました。】

桐生市の被害総額は当時の金額で9億4000万円で、桐生市の当時の予算が800万円で、今の金額におきかえるとあくまでも概算ですが約4兆円を超えたとも言われております。これは、石巻市の災害に匹敵する規模になります。

【桐生市は、当時、財政が厳しく、復興の財源確保のため競艇を誘致しました。と言われております。

ちなみに桐生競艇は(昭和31年、1956年)に開設しました。】

石巻市の災害は、対岸の災害と思っはいけません。桐生市も石巻市と同じように、甚大な災害が何度も起きています。

この災害から約70年が過ぎましたが、この間に、昭和51年に草木ダム、昭和57年に桐生川ダムがそれぞれ建設されました。

しかし、最近の災害をみると、100年に一度の豪雨や観測史上最大の豪雨などが頻繁におきております。ダムができて安心はできません。いつ桐生市でも災害がおきてもおかしくない状況だと思えます。

また、水害だけでなく、住宅密集地での大火災や、がけ崩れ、赤城山や榛名山の噴火、そのほか想定外の災害がおきる可能性も沢山あります。

災害が起きて、消防署や警察、市役所に連絡しても対応が多くて処理しきれず、時間がかかってしまったり、対応ができない場合もあります。自分の身は自分で守らなければなりません。災害がおきると携帯電話が繋がらず、家族の安否の確認ができなくなり、さきほどの、石巻市の消防職員のように、

家族の安否の確認できないと仕事は、おろか何も手につかなくなってしまいます。これは、皆様も同じです。

家族の安否の確認は、災害用伝言ダイヤルサービスなどがありますので、それらを利用してください。

最寄りの避難所に歩いて避難される方や車で非難される方、それぞれあると思いますが、その避難経路にアンダーパスがあれば冠水している場合も考えられます。橋があれば橋が落ちている場合も考えられますので、避難場所や避難経路は、複数考えておく必要があります。また、避難所に何をもっていったらよいか日ごろから用意しておき、すぐに持ち出せるようにしておく必要があります。

## 東京ロータリークラブへメイクに行ってきました

1月22日(水)

点鐘:12時30分 例会場:帝国ホテル  
青木さん、荒木さん、田中さん、丹羽さん、平岩さん、事務局田村の6名がメイクへ行って来ました。

当日は、私達を含めビジターが20名でした。

例会の席は、会員数が多い為3ヶ月ごとにシャッフルされ決められているそうです。

ビジター席は無く、テーブルに2名ずつ案内されました。食事を含め1時間の為、あっという間に終わってしまいましたが、貴重な体験ができました。



本日の食事



ラ・メール

✿本日のお花✿



### 【例会予告】

2月3日(月) ◆ 卓話 桐生市消防本部  
警防課

◆ 食事 五大

10日(月) ◆ 休会

17日(月) ◆ 卓話 元格闘家  
中澤 純 様

◆ 食事 ステーキ&海鮮 一

24日(月) ◆ 振替休日の為、休会